

只見や新潟の6団体が映画「峠 最後のサムライ」を応援 支援の会が製作委に協賛金約2008万円を贈呈!

昨年の12月25日、長岡藩家老の河井継之助が主人公の映画「峠 最後のサムライ」を応援するための協賛金贈呈式が新潟県長岡市のホテルで開催され、奥会津只見継之助会や長岡商工会議所など6団体で構成する製作支援の会が、映画製作委員会に協賛金2008万184円を贈りました。

この協賛金は、支援の会の6団体がまちおこしになるとの判断のもと各地域の住民や事業所などから募ったもので、奥会津只見継之助会は80万9300円を贈りました。

贈呈式では、長岡商工会議所会頭で支援の会の丸山智会長が映画のPRをする松竹ナビの細内重夫

常務に目録を手渡し、奥会津只見継之助会の角田行雄会長は、映画製作に町民をあげて期待していることを述べられました。映画は2020年に全国公開される予定です。



▲映画「峠 最後のサムライ」協賛金贈呈式
▲細内常務(左から3人目)と制作支援の会6団体の代表(右から2人目が角田会長)

新年の飛躍を誓う

「平成31年只見町新年交歓会」を開催



▲目黒商工会長の発声で乾杯する出席者の皆さん

1月7日、季の郷湯ら里で「平成31年只見町新年交歓会」が開催され、金子隆司南会津振興局長をはじめ町外の来賓の方々を迎え、町内の事業者や団体など約130名が出席し、新年を祝いました。

年頭のあいさつでは、菅家町長が「今年は町制施行60周年を迎える節目の年。人口減少対策こそが私の最大の使命との認識のもと、本年も第七次只見町振興計画を理念に、『住民が主役のまちづくり』『住みやすいまちづくり』など5つの政策を柱に取り組みます」と述べ、続けて齋藤邦夫町議会議員が「本町は人口減少対策が最大の課題。議会と町当局は相互の役割を尊重し、切磋琢磨しながら全力を尽くします」と話しました。また、金子隆司南会津地方振興局長と星公正県議会議員が祝辞を述べられ、その後、只見松楓会が祝辞「鶴亀」を披露し、目黒長一郎只見町商工会長の発声で乾杯しました。祝宴では、はぎの会による華麗な舞踊が披露され、最後に橋本副町長の万歳三唱で、新年の飛躍を誓いました。



▲祝辞を披露する只見松楓会の皆さん

昔ながらの正月の遊びに触れる 各保育所で「かるた大会」開催

1月16日、昔ながらの正月の遊びを体験する「かるた大会」が各保育所で行われました。

只見保育所では、年少児のふたば組から年長児のさくら組までの22名が参加し、各組に分かれて行われました。子どもたちは正座して円になり、先生が札を読み上げると「はいっ!」と大きな声でかるたに手を伸ばしていました。

大会後、先生から「皆さん頑張りました」と全員に手作りの賞状が贈られました。



▲「はいっ!」と大きな声でかるたに手を伸ばす只見保育所園児の皆さん

只見中学校スキー部がアルペン・クロカン競技で大活躍! 「県中体スキー大会」各種目で好成績! 東北・全国へ!

1月21日、猪苗代町で開催された「第61回福島県中学校体育大会スキー競技大会」に出場した只見中学校スキー部9名が役場を訪れ、菅家町長に大会の結果報告をしました。

今回の大会は、アルペン女子回転で鈴木来菜選手(2年)が見事優勝を飾り、クロスカントリー男子リレーも2位に入るなど、下記の結果のとおり選手たちが素晴らしい活躍を見せ、東北・全国大会への切符を手に入れました。報告では、3年の羽染宗都選手が「アルペン2名、クロカン7名が上位大会に出場する



▲菅家町長に報告した只見中学校スキー部の皆さん

ので応援をお願いします」と話し、優勝を飾った鈴木選手は「東北・全国大会が決まったので、精一杯戦えるよう頑張りたい」と話しました。選手たちは、宮城県と岩手県で行われる東北大会と新潟県で開催される全国大会にそれぞれ出場する予定です。

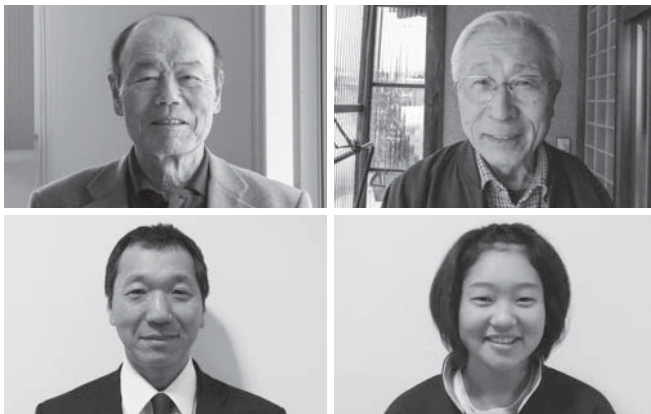
第61回福島県中学校体育大会スキー競技大会 結果(10位以内)

競技名	順位	氏名	学年	上位大会出場
アルペン女子回転	1位	鈴木来菜	2年	全国大会・東北大会
アルペン女子大回転	5位			東北大会
アルペン男子大回転	6位	羽染宗都	3年	東北大会
クロスカントリー男子フリー	6位	大竹優真	2年	全国大会・東北大会
	7位	五十嵐涼凱	3年	東北大会
	8位	山内大暉	2年	東北大会
クロスカントリー男子距離	9位	五十嵐涼凱	3年	東北大会
クロスカントリー男子リレー	2位	只見中学校		東北大会
クロスカントリー女子リレー	5位	只見中学校		
学校対抗 総合	女子総合(4位) 男子総合(5位) 男女総合(4位)			

地域の魅力・価値を再確認

「只見おもしろ学検定」上級に4名が合格！

昨年の12月、只見の自然・歴史・民俗文化などの価値を学ぶ「只見おもしろ学検定」が朝日振興センターと3小学校で開催されました。検定開始から4年目となる今回、114名の方が受験し、初級39名、中級19名、上級4名の方が合格しました。上級合格者は、鈴木勝喜さん(只見)、山岸秀弥さん(只見)、明和小学校教諭の荒川信一さん、明和小学校6年の山内ひかりさん(梁取)で、今回初めて小学生の合格者ができました。今回から各振興センターに、合格者一覧が掲示されています。また、今年度2回目となる検定会は3月16日に朝日振興センターで開催される予定です。



▲左上から上級に合格した鈴木さん、山岸さん、荒川さん、山内さん



▲「ブナの森の道具屋さん」を完成させた子どもたち

え、「ブナの森の道具屋さん～お客は森の生きものたち」をテーマに行われました。1回目は楯戸の観察の森で木や葉っぱなどの材料を探し、2回目は生きものたちの道具を考え創作し、3回目は展示会の準備を行いました。児童の作品は2月中旬頃までただみ・ブナと川のミュージアムの休憩室で無料見学でき、以降は浜通りの施設で展示される予定です。

只見の子どもたちが芸術体験 「福島こども芸術計画」

昨年11月から今年1月にかけて、地域資源を学ぶワークショップ「福島こども芸術計画」が只見町で全3回開かれ、只見地区の児童約20名が参加しました。これは、県内の子どもたちを対象にアーティストを派遣し芸術体験する事業で、福島県や東京都などが主催しています。今回は講師に身近な自然を活用するアーティスト・岩田とも子さんを迎え

早乙女踊りを披露しオンベで無災祈願 小川集落で「オンベ」開催

1月20日、小川集落の「オンベ(サイノカミ)」が行われ、多くの地域住民が集いました。小川集落では、オンベが始まる前に集会施設で小川早乙女保存会による伝統芸能「早乙女踊り」と小学生による「八木節」が披露されました。オンベでは、地域の五穀豊穡や家内安全などを祈願した神事が執り行われたほか、年男・年女の方や厄年の男女など9名による「黄金お菓子まき」が行われました。最後にオンベの火で焼いた餅を食べ、1年の無災を祈願しました。



◀地域住民の前で八木節を披露する子どもたち

▶オンベの火で餅を焼く地域住民の皆さん



南会津高校3年・山内花さん(二軒在家) 県高体スキー大会・県総体スキー大会で連覇!

南会津高校3年生の山内花さん(二軒在家)が「第64回県高校体育大会スキー競技」及び「第71回県総体スキー競技会」において、優勝・連覇という輝かしい成績を取めました。

山内さんは、1月10～12日に桜枝岐村の尾瀬桜枝岐クロスカントリースキーコースで行われた「第64回県高校体育大会スキー競技」で、女子クラシカル5kmと女子フリー5kmで優勝し、3年連続の2冠を達成しました。また、1月19～20日に猪苗代町クロスカントリーコースで行われた「第71回県総体スキー競技会」では、距離クラシカル少年女子5kmで4連覇を飾り、距離フリー女子5kmでも2連覇し、見事2年連続の2冠に輝きました。今後行われる全国大会、国体などでの活躍が期待されます。



▲(写真提供/福島民友新聞社)県高体スキー(桜枝岐村)で登坂を力走する山内さん

健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」の最終回 全参加者で約100kgの減量達成!



▲3ヵ月間高い意識を持って参加した受講生の皆さんと支えた吉成トレーナー(下段右から3番目)



▲吉成トレーナー(右)から修了証を受け取る受講生

1月24日、只見町とRIZAP(ライザップ)が連携する健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」の最終回・第8回講座が只見振興センターで開かれ、受講生19名が参加しました。これは、RIZAPトレーナーによる「3ヵ月間出張型プログラム」を只見町で開催しているもので、これまで11月から1月までの全8回の講座で、食事メニューやトレーニング方法などを学び実践してきました。

講座では、馬場博美保健福祉課長が「1回目と5回目を比較した中間発表では、全員で-56.2kgとした報告を受け、皆さまの努力が成果に表れています」とあいさつし、続いて行われた修了証授与式では、吉成大樹 RIZAP トレーナーから受講生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了証を受け取った受講生からは、「RIZAPを始めてから食事メニューが大きく変わり、生活習慣が改善された」「講座は今回で終了するが、これがゴールではなく継続していきたい」「ウェストが-12cm減った」などの講座への感想や今後の目標を発表しました。RIZAPによると、3ヵ月間全8回の講座を終えた受講生20名の合計減量数は「-96.7kg」で、一人あたりの最大減量数は「-11kg」であったとされ、受講生の健康意識の向上と生活習慣の改善が図られました。